

経営ビジョン

新たな価値を創造し、あるべき姿の実現に向けた取り組みを進めます。

北海道コカ・コーラグループは「2030 VISION」を「企業のあるべき姿」とし、そのあるべき姿を実現するための実行計画として

2024年から2026年までの中期経営計画を策定しています。

地域に根ざした「どさんこ企業」として、北海道の豊かな環境を大切に、安全安心で高品質な製品の提供を通じて

「サステナビリティ経営」を実現することで持続的成長を目指しています。

北海道コカ・コーラグループ 2030 VISION

- 1 コカ・コーラブランドと地域密着力による新たな価値やサービスの提供と、
- 2 グループ総合力を基盤とした新たな事業領域の創出で、
- 3 どさんこ企業として地元北海道の発展に貢献し、
- 4 持続的成長のための『サステナビリティ経営』を実現する

北海道コカ・コーラグループの中期経営計画 (2024年～2026年)

基本戦略

事業戦略	飲料ビジネスの安定基盤構築	<ul style="list-style-type: none"> ①ビジネス安定基盤の再構築 ②ポテンシャル領域での投資効果の最大化 ③飲料ビジネス成長のための基盤構築投資 ④環境負荷軽減とSCM効果の安定拡大
財務戦略	持続的成長に向けた資本配分の適正化	<ul style="list-style-type: none"> ①基盤・成長投資の原資となる営業キャッシュフローを創出 ②基盤構築及び戦略成長分野への投資増 ③長期的な安定配当の継続
非財務戦略	人的資本の強化と社会・環境への取り組み強化	<ul style="list-style-type: none"> ①個の力の最大化と生産性向上 ②新しい価値創造のための風土醸成 ③サステナビリティ活動の深化 ④社会課題を解決する価値の創出

部門戦略

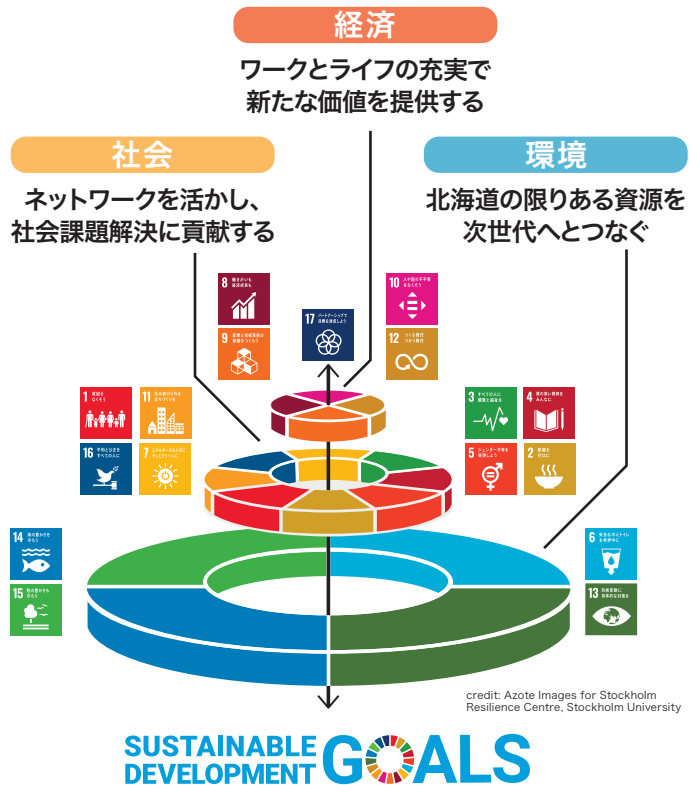
<p>営業</p> <p>現場・本部・企画・グループ四位一体の活動による北海道マーケットの牽引</p>	<p>人事</p> <p>効果的な人的投資とエンゲージメント向上による利益の最大化</p>
<p>投資・SCM・環境</p> <p>100年企業を見据えた基盤維持・戦略投資と新たなSCM価値の創出</p>	<p>広報・サステナビリティ</p> <p>ステークホルダーとの価値共創によるサステナビリティ経営の実現</p>

SDGsビジョン

サステナビリティ活動の方針と戦略

これまで取り組んできたCSR活動をより事業活動と結びつけた「サステナビリティ活動」へ進化させるため、グローバル目標であるSDGs（持続可能な開発目標）と「2030 VISION」「中期経営計画」を連動させ、「環境」「社会」「経済」の3つを軸に重点課題を定め、社会課題解決に貢献します。

サステナビリティ活動の3つのプラットフォーム



中期経営計画の重点課題

部門戦略	事業活動重要取り組みテーマ	3つの軸の分類			事業活動重要取り組みテーマと連動するSDGs項目
		環境	社会	経済	
営業	現場・本部・企画・グループ四位一体の活動による北海道マーケットの牽引				
	環境領域における協働取り組み拡大	●		●	12, 13, 14
	自動販売機オペレーション効率改善	●		●	8, 13
	地方エリアにおける自動販売機サービス		●		11
投資・SCM・環境	100年企業を見据えた基盤維持・戦略投資と新たなSCM価値の創出				
	DX、AI、ロボット活用への投資			●	9
	WWW*活動の推進 ※World Without Wasteの略(P10参照)	●		●	12, 13, 14
	GHG*排出量削減 ※Greenhouse Gasの略(P9参照)	●	●		7, 13
	水使用量の削減	●			6
人事戦略	効果的な人的投資とエンゲージメント向上による利益の最大化				
	スキルの底上げ		●	●	4, 8
	多様な人材の活躍支援		●	●	5, 8
	働きがいの醸成			●	8
	業務効率化による時間の創出		●	●	5, 8
広報・サステナビリティ	ステークホルダーとの価値共創によるサステナビリティ経営の実現				
	社会課題解決型自動販売機の価値向上		●		2, 11
	環境貢献活動の価値向上	●		●	6, 12, 13
	D&I推進と健康増進への取り組み		●		1, 3
	次世代教育の推進		●		4